



認定こども園みなと幼稚園(福原恵実園長)の年長・年中園児による第20回議場コンサートが、12月6日の定例会一般質問の前に開催されました。鼓笛演奏による「こんにちはトランペット」、「きらきら星」、「メリーさんの羊」、「ドラムマーチソロ」、「ピーマーチ」の5曲を披露していただきました。かわいらしい指揮者の号令により元気よい演奏が始まり、議場全体がほのほのとした温かい雰囲気に包まれました。



大貫漁港「富士に向かって」  
写真提供 千種新田・藤川征那さん

## 富津絶景<sup>29</sup>

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、欲びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。  
(上記編集先まで)

12月定例会・委員会報告……2～3P

議決結果……4P

個人質問……5～9P

議会報告会……10～11P

トピックス・定例会日程……12P

# 12月 定例会

## ◆補正予算

### ▼一般会計補正予算(第5号)

地域における需要や実情に応じた輸送サービスの実現に向けて協議を行う富津市地域公共交通会議にかかる委員報償費などの増額補正、新規需要米の作付けを行う市内農業者に対して交付する飼料用米等拡大支援事業補助金の増額補正、橋梁長寿命化修繕事業に係る増額補正、9月の長雨により路肩崩落した市道高塚保釜線に係る災害復旧工事に伴う道路災害復旧費の増額補正、地域介護・福祉空間整備事業に係る経費、児童発達支援給付事業に係る経費、経済対策臨時福祉給付事業に係る経費、私立保育園運営事業に係る経費など、及び、これらに関連する歳入

平成28年12月定例会は、11月29日から12月19日までの21日間で開催されました。議案17件、陳情2件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。

を計上するとともに、繰越明許費及び債務負担行為を設定するほか、地方債の補正をするものであり、全員の賛成で可決しました。



橋梁長寿命化修繕事業で工事予定の富士見橋（金谷）

### ▼平成28年度富津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

今回の補正の主な内容は、介護予防サービス等給付事業に係る経費、総合事業費精算金及びこれらに関連する歳入を計上するもので

あり、全員の賛成で可決しました。



路肩崩落した市道高塚保釜線

### ▼富津市高宕山自然動物園の指定管理者の指定

富津市高宕山自然動物園の指定管理者の指定期間が平成29年3月31日をもって終了することに伴い、同施設の指定管理者を引き続き富津市観光協会天羽支部に指定しようとするものであり、全員の賛成で可決しました。

### ▼富津市税条例等の一部改正

地方税法等の一部を改正する等の法律により改正・施行されることに伴い、条例の一部を改正するものであり、全員の賛成で可決しました。

### ▼児童福祉法等の一部改正

児童福祉法等の一部を改正する法律第2条により改正された児童福祉法が施行されることに伴い、関係する条例の一部を改正するものであり、全員の賛成で可決しました。

### ▼富津市国民健康保険税条例の一部改正

所得税法等の一部を改正する法律により改正された外国居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税等に関する法律が施行されることに伴い、市民税で分離課税される特例適用利子等の額及び特例適用配当等の額を国民健康保険税の所得割額の課税対象となる額及び減額の算定基準となる額に含めるため、条例の一部を改正するものであり、全員の賛成で可決しました。



# 平成28年12月定例会の 議決結果

※議案17件の議決結果は次のとおりでした。

議案等	議決結果	猪瀬浩	諸岡賛陸	三木千明	高木一彦	千倉淳子	山田重雄	平野英男	渡辺務	松原和江	岩本朗	石井志郎	藤川正美	永井庄一郎	鈴木幹雄	福原敏夫	平野明彦(議長)	
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
税条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
高宕山自然動物園の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
副市長の選任につき議会の同意を求めること	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
固定資産評価員の選任につき議会の同意を求めること	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。

議案名中の『富津市』及び、『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

## 市長の所信表明について



鈴木 幹雄  
議員

**問** 交通弱者対策については。

**市長** 交通弱者対策として、今年度中に富津市地域公共交通会議を立ち上げ、その会議においては、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく富津市地域公共交通網形成計画を来年度中に作成を行う。

**問** 市民が必要な交通ネットワークの構築とは。

**市長** 今年度立ち上げる地域公共交通会議において検討すること、1つ目として、対象ニーズを体系的に整理できるよう調査、分析をする。2つ目として、既成概念にとらわれず、市民の移動の流れの実態と路線経路の乖離をチェックする必要とする人を対象としたサービスを提供するための路線再編等を含めて検討する。

**問** 公共交通を余儀なく利用している児童生徒の通学費の補助は。

**教育部長** 公共交通を利用して児童生徒の通学補助は、通学路の交通事情や通学距離等を考慮し、前向きに検討する。

**問** 「子育てしやすいまち日本一を目指す」については。

**市長** 笑顔で子育てできるまち、子供たちの笑顔があふれるまち実現のため、子育て環境の整備として、保育料第3子以降無料化、病後児保育施設、子育て支援センターの拡充、子育ての話何でも聞きます窓口開設等に取り組んでいく。

**問** 平成29年度への予算要求は。

**市長** 公約に関するものとしての要求については、子育て施策、健康に関すること等要求している。

**問** 豊かな観光資源を活用した交流人口の増加については。

**市長** 富津市の多くの観光資源を活かし、観光を支えて来た事業者、観光協会、商工会の皆さんと行政が連携を強化し、新たな担手のNPO法人の参画を促す。



子育て支援センター(あおほり子育てサロン)

## 市長の所信表明・情報の公開

**問** 所信表明の優先順位は。

**市長** 「ひとの創生」に係る事業。

**問** 不妊治療制度の導入について。

**健福部長** 概算は助成対象者25人と想定、一人当たり年間15万円とすると総額375万円見込み。

**問** 第3子以降保育料無償化は。

**健福部長** 保育所等入所児童のうち第3子以降の児童は127名、既に無料の児童を除いた該当児童は77名、概算2240万円程に。

**問** 保育料の無償化と幼稚園は。

**教育部長** 第3子以降の幼稚園の経費は保育園同様。平成28年10月現在で該当する児童は31名、概算で590万円の増額となる。

**問** 予算161億円の富津市が61億円の庁舎建設と批判されたが。

**総務部長** 本庁舎は平成2年に着手、当初予算206億円で事業費5億円、平成3年度207億円で26億円、平成4年度219億円で29億円、総事業費は61億円。

**問** 羽鳥野バスストップ建設費は。

**建経部長** 羽鳥野建設費は7億円、木更津市が5割の約3億円、烏田土地区画整理組合4割約2億円、道路公団1割7800万円。

**問** バスストップへの階段設置は。



石井 志郎  
議員

**建経部長** 上り線は階段を設置する予定、下り線は難しい状況。

**問** 火葬場の今後の維持費は。

**市民部長** 今後使用すると建物改修で約2億円、毎年の修繕費160万円程度。火葬炉も4炉を順次更新で約2億円が必要と試算。

**問** 市長選、市庁舎周辺、所有地で選挙活動及び集会等の事例は。

**選管局長** 投票日の4日前、市役所裏市有地で特定候補者の支援団体が街頭政談演説、投票日の前日に市役所前庭で特定候補者が演説。公職選挙法において個人演説会、政党演説会の場合を除いて国または地方公共団体が所有し、または管理する建物において選挙運動たる演説会及び連呼活動を行うことを禁止している。



認定子ども園みなと幼稚園

\*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。  
建経部長（建設経済部長）

## 浅間山砂利採取跡地利用 天羽地区観光施策



山田 重雄  
議員

**問** 浅間山砂利採取跡地については。

**市長** 太陽光発電などの再生可能エネルギーに関する住民の関心が高まっていることから、関東最大級のメガソーラーを、環境学習及び観光活性化に結びつける仕組みを支援したいと考えている。

**問** 君津中央病院大佐和分院の基本構想、建設用地の進捗状況は。

**建経部長** 平成28年2月の君津中央病院企業団議会全員協議会で報告された君津中央病院大佐和分院施設基本構想基本計画が承認されている。大佐和分院建設用地については、現大佐和分院駐車場、富津市役所隣地、浅間山運動公園用地の3ヶ所を情報提供してある。

**問** バスストップ建設の進捗は。

**建経部長** 館山道の建設は平成30年完成を目指していることから、バスストップについても今年度から29年度にかけて下り側の工事、平成29年度から30年度にかけて上り側線工事を実施、完成を目指している。

**問** 市道浅間山線の進行状況は。  
**建経部長** 市道浅間山線につきましては、浅間山のバスストップ、



関東最大級を誇るメガソーラー  
（浅間山砂利採取跡地）

駐車場とあわせてやはり平成30年度までに完成を目指して、国からの交付金事業で実施をしている。また、この道が通じると県道鹿野山湊線にアクセスできるので、千葉県県のほうで改良工事をやっているのが千葉県に要望していく。

**問** 天羽地域の観光施策は。

**市長** 関豊地区については、観光拠点である高宕山自然動物園や市民の森を市及び観光協会のホームページ、観光ガイドブック等で情報発信し、観光客の誘致を図っていく。高宕山動物園休園中の補償の対応は、休園日数等が確定した時点で休園期間の入園料と事業収入の実績に基づいて、相当する額の補償の実施を考えている。

## 来年度の予算編成と 市長の公約等について



永井庄一郎  
議員

**問** 平成29年度の予算編成方針と財源の見通し、特徴と高橋カラーの表し方について。

**市長** 将来にわたり持続可能な行政経営の実現のため、より一層改革を進めていく。富津市の活性化のための施策のさらなる充実を図っていく方針としている。高橋カラー、公約事項は施策の制度設計を十分に先行実現に向けて取り組んでいる。財源は中期収支見込程度の財源を見込んでいる。

**問** 公約の子育てしやすいまちの施策、覚悟、意気込みについて。

**市長** 不妊治療制度の導入、第3子以降の保育料無料化、病後児保育施設や子育て支援センターの充実、子育ての話なんでも聞きます窓口の開設、放課後学習教室を設置するなど子育てしやすいまち日本一の実現に向けて努力する。

**問** 浅間山周辺、国道127号沿線の周辺土地利用について、メガソーラー事業等に伴う市税への影響額については。

**市民部長** 土地、償却資産に係る固定資産税で従前と比較して約2億500万円の増収となっている。  
**問** 浅間山バスストップ設置に伴

い利用者の駐車場の位置と設置整備について。

**建経部長** 駐車場の位置は、浅間山運動公園のテニスコート前の駐車場の南側に隣接する土地。施設としては、トイレを設置する。

**問** 浅間山砂利採取跡地に直売所を設置する内容については。

**建経部長** 市道浅間山線が開通すれば、マザー牧場の来訪者など多くの観光客が富津中央ICへ向かうことが予想される。開通後の状況を見極めた中で方向性を精査し関係機関と協議検討していく。

**問** 公共施設解体に伴う財源は。

**総務部長** 収支見込みの中では、解体費の財源は見込んでいる。起債の除却債の発行が、平成26年度から当分の間認められている。



解体予定の旧天羽行政センター

\*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。  
建経部長（建設経済部長）

## 富津市の防災策

**問** 平成20年に制定された富津市耐震改修促進計画の見直し計画はあるか。

**建経部長** 千葉県が今年1月に改定しており、富津市としても今年度中に策定の予定。内容は、耐震化目標を平成32年度に95%に、また、補助の対象範囲を昭和56年5月以前の住宅から、平成12年5月以前の住宅に広げる予定。

**問** 以前、私の議会質問で、震度5弱以上になると、避難所の鍵が入っている箱が自動的に開く仕組みを提案したが、富津市の現状はどうか。

**総務部長** 現状の指定避難所43カ所は管理者が鍵をもっているが、その内14カ所は、付近に居住する市職員4名を直行職員に指名し合鍵を貸与している。また、今年度から小中学校体育館の鍵が入ったステンレス製の箱を設置し、震度5弱の揺れで解錠できるよう進めている。

**問** 大正12年9月1日に関東大震災があった。190万人が被災し、10万5千人が死亡・行方不明に。その内の9割が焼死。この原因は能登半島付近に台風があり、強風



藤川 正美  
議員

で広がったこと。地震発生時の火の取り扱いの注意点は。

**消防長** 電化製品等を使用中に地震が発生し停電になった場合、通電後に電化製品から出火する危険がある。避難する際は、電源やブレーカーを切ってから避難すること。

**問** 「消火器・消火栓の取り扱い訓練」という、30分〜1時間の出前講座があるが、実績と課題は。

**消防長** 近年は減少傾向。以前は実際に火を燃やし、粉末消火器を使用していたが、現在は環境問題や事故事例もあり水消火器を使用している訓練になっている。課題は実際に火を消す体験ができないため、消火器の効果を実感することなど。



災害時の貴重な情報源「かずさFM」  
83.4MHzは、富津市では、約70%の  
地域で聴くことが可能

## 小中学校図書館蔵書状況・ 漁業振興について



三木 千明  
議員

**問** 文科省の定める「学校図書館図書標準」との整備目標があるが、平成25年度末現在で市内公立小中学校において整備目標を達成している学校の割合が小学校で25%、中学校で0%であった。その後の蔵書状況等は。

**教育長** 学校図書館図書標準を達成した小学校は平成25年度は富津小、飯野小、天神山小、中学校は未達であった。平成27年度末時点での達成率は、小学校84%、中学校70%である。

**問** 児童、生徒1人当たりにおける利用冊数は。

**教育部長** 平成27年度末時点で、利用状況データのある小学校6校では、1人当たり年平均6.7冊、同じく中学校4校では年平均9冊である。

**問** 学校図書館図書状況を改善するにあたり、いわゆる読み終えた本の寄贈等は可能か。

**教育部長** 蔵書図書が新品でなければいけないとの条件はなく、寄贈図書を含め改善を検討したい。

**問** 児童、生徒が読書に親しむ動機づくりとしての取り組みは。  
**教育部長** 全ての小学校で「朝読

書」の時間を設ける他、読書ボランティアによる読み聞かせ等実施。  
**問** 当市の基幹産業と位置付けられる1次産業のうち、漁業振興について、市としてどう取り組んでいるか。

**市長** 市内の漁業について、漁場の特性を活かした活力ある生産体制確立に向け市内各漁協等の実施する漁場環境改善、種苗生産や放流、施設整備等事業に対し、支援している。

**問** 農林業では鳥獣被害が顕著だが、水産業における各種被害状況は把握しているか。

**市長** 昨年、海苔の記録的不作、潮流変化による定置網流出、また自然環境変化以外でも、船舶事故等による油の流出等、過去に被害が生じている。



今後も蔵書の充実が必要な小学校図書館

\*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

健福部長（健康福祉部長）  
建経部長（建設経済部長）

## 市長の目指す富津市の未来像について

**問** 若手職員を起用したプロジェクトチーム等で、庁内改革を行っていく考えは。

**市長** 現在プロジェクトチームは、豊富な経験と知識を持った課長級の職員を起用し、公共施設再配置の全庁的な調整に当たっている。また若手職員の発想等で活かせるものがあれば、全庁的な課題に起用していきたいと考える。

**問** 先日の他の議員の一般質問で「公共施設等再配置の問題について、各地域に向向いて市民との座談会やワークショップを開催する予定」との答弁があったが、他の課題についての対応方法は。

**市長** 情報の提供については、出来るだけ速やかに、正確なものを伝えていきたいと考える。住民説明会や意見交換会の開催については、個別の事案ごとに判断する。

**問** J R線利用の利便性向上対策は。

**市長** バスと電車の接続をスムーズに出来るよう運行業者と協議を進めていきたいと考える。なお市営の駅前駐車場の整備については考えていない。

**問** 市街化調整区域活性化対策は。



猪瀬 浩  
議員

**建経部長** 平成28年3月に県の区域マスタープランが発表され、原則住宅地開発が出来ないとされた。市としては「市街化調整区域における土地利用方針及び地区計画運用基準」を定め、住宅地建設等の適切な土地利用を図っていく。

**問** 第3子保育料完全無料化を推進していくとあるが、他市と比べて高い第1、2子の保育料改正は。

**健福部長** 現時点では改正を行う考えはない。

**問** 市民が主導する事業運営に共々に市の職員も携わっていくような考えは。

**市長** 市民花火大会等、職員も携わらせて頂き、非常にいろいろな意味でよい経験になっている。他の事業についても、内容等を加味し、検討していく。

市民の皆さんが自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市づくり

挑戦！パワフルな市政を。

「挑戦」とは、ふるさと富津の未来に責任を負い、市民の皆様が安心して笑顔で暮らせる富津市政を実現するために全身全霊をかけて戦いを挑むという覚悟をあらわすもの。

「パワフルな市政」とは、市民の皆様の声に耳を傾けながら、やらなければならない施策の優先順位を決めて、決めたことを断行していく市政。市政に対する多くの要望がある中で、この作業を進めるにはとてつもないパワーが必要ですが、必ず実現する覚悟です。

高橋市長の市政運営にける決意

## 市民福祉の向上 市民の足を守る

**問** 介護保険制度の改定により、利用料が10%から20%になった人の負担増はいくらか。

**健福部長** 1人当たりの月額平均で約8100円。

**問** 施設入所者の食費や住居費の補助がなくなった人の負担増は。

**健福部長** 1人当たりの月額平均で約4万5000円。

**問** 国保税は下げられたが、近隣3市と比べてもまだ富津市が一番高い。新市長の認識を伺う。

**市長** 近隣3市は一般会計からの法定外の繰入をしているから低い。富津市は保険給付費に見合った国保税であると認識している。

**問** 引き下げる財源は十分ある。

**健福部長** 1人当たりいくらあるか。また、県内では何番目か。

**健福部長** 平成27年度決算で、1人当たり4万7597円。県内市町村では2番目。

**問** 難病患者見舞金や寝たきり老人散髪代などがカットされた。苦しんでいる市民がいること、対象が少数だからと見捨てないで欲しい。

**市長** 社会福祉、社会保障及び公衆衛生について検討精査を行い、住



松原 和江  
議員

民福祉全般の向上を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

**問** 公共交通改善の取組状況は。

**市長** 年度内に住民代表、事業者等を構成員とし、(仮称)富津市地域公共交通会議を立ち上げる。来年度は、地域公共交通網形成計画を策定。それに基づく施策を速やかに実施する。

**問** 乗合タクシーの導入も含まれているのか。

**総務部長** 選択肢の一つと考えている。

**問** 浅間山バスのストップについて、竹岡と上総湊の高速バス停を残す問題は、J Rバスとどこまで進んでいるのか。

**総務部長** 確かな需要予測が必要だという現在の認識のもとに協議を進めている。



浅間山バスストップが完成しても、地元から存続の希望が多い上総湊前バス停



\*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。  
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。

## 市長の市政方針と所信表明・火葬場移転計画について



千倉 淳子  
議員

**問** 今回の選挙で、高橋市長に投票された以外の皆様へのメッセージと選挙戦で争点となったと思われるバスのストップ、火葬場の件について思いを伺う。

**市長** 市民の皆さんが自信を持って次世代にバトンを渡せる富津市作りを念頭にスピーディーでパワフルな市政運営に努める。バスストップ、火葬場については今後も肅々と計画に沿って進めていく。

**問** 経営改革プランの確実な実行、経験と柔軟な発想、行動力による活力あふれた街づくりに全身全霊で取り組むとのことだが、例えば私の住む竹岡という町をこの言葉のもとに考えてくださるなら、どんな考えがあるか。

**市長** 活力あるまちづくりには、まちの創生、ひとの創生、しごと創生を實行することが重要であると考えている。そして市民の皆さんが地域に愛着を持ち、自信を持って次世代の子どもたちにバトンを渡せるまちづくりを進めていきたい。

**問** 就任式での「市民の相談にお金がないといったことはないか、私が市長になったからにはお金がないからとは言わせない」という力

強い言葉の所見を聞かせてほしい。  
**市長** 財源がある中、要望に対して何らかの工夫や善後策、必ずしもお金をかけなくても対処できる方法がないか考えて頂きたいとの思いから発したものである。

**問** 火葬場移転計画について、独自のアンケートでは、回答数860名、移転に反対93・2%、市からの説明不十分63・2%との回答を得たが、これら市民の意見をどのように吸い上げていくのか。

**市民部長** 基本構想(案)の意見公募については10月3日～11月2日まで、市役所2階環境保全課、1階行政資料コーナー、天羽行政センター及びホームページを閲覧場所として実施した。引き続き必要な意見公募等を実施した中で、市民の意見を伺いたい考えである。



市役所本庁舎1階の行政資料コーナー

## 市政運営と財政、峰上地区の地域振興について



高木 一彦  
議員

**問** 市長は公約の通り、市長専用公用車の廃止を移行に移す考えか。

**市長** 市長専用公用車の廃止については、佐久間前市長の任期中に実行しており、今後も置く考えはない。

**問** 所信表明において、4市の広域連携を推進、市民活動推進課を設置するとあるが詳細は。

**市長** 現在他市と共同で行っている事業だけでなく、関係団体と協議中の事業についても、可能なものからスピード感を持って推進していく。市民活動をサポートする際の諸手続きを一元化することで、ワンストップの手厚い支援体制の構築を考えている。

**問** 富津市の財政運営、財源の確保、行政費用についての認識は。

**市長** 財政収支は一定の改善がなされているが、依然厳しい状況が続くと認識している。財源の確保は、市税徴収率の改善により、27年度は前年比0.98ポイント増の約92%に上昇している。また、経営改革会議で行政費用についての指摘を受け策定された、経営改革プラン、実行計画を着実に実行することにより財源の確保、各費用の改

善に努めていく。  
**問** 峰上地区の方向性、鳥獣被害対策、公共施設の管理、活用は。

**市長** 峰上地区の人口は2010年では3080人だったが2020年には2726人になる見込み。地域活動についても安全安心で住みやすい環境維持のため協力していく。水道整備についても補助金等を活用して事業を進めていきたいと考えている。鳥獣被害対策は捕獲体制の強化、県への要望の実施を進めていく。公共施設である高岩山自然動物園、市民の森については、観光コースを検討、外国人観光客向けのパンフレット制作などでPRしていきたいと考えている。



市民の森キャンプ場

平成27年度より開催し、今回で2回目となる議会報告会ですが、昨年4月の市議会議員改選を経て新たな議員構成の中、新たな試みとして第1部・議会報告会、第2部・参加者の声を聞く意見交換会の2部構成で開催致しました。

それぞれの地域の方々に議会報告が出来るよう富津市民会館・富津市役所・富津公民館の3か所3日間開催させて頂き、延べ80名の方にご参加いただきました。

そしてそれぞれの会場において、第1部では、総務産業常任委員会及び教育福祉常任委員会が所管する事柄（公共施設等の解体・売却

**【財政問題への議会の取り組み】**

1) 議員報酬・議員定数及び議会人件費の削減

【議員報酬】	月額報酬	年額報酬 (期末手当含む)	定数	【議会人件費】
H26.3時点	45.0万円	720.00万円	18名	約1億2960万円
H26.4時点	43.2万円	689.04万円	18名	約1億2403万円
H27.4時点	40.5万円	652.05万円	18名	約1億1737万円
H28.4時点	36.0万円	579.60万円	16名	約9274万円

※平成26年度、議員月額報酬の4%を減額。  
平成27年度、議員月額報酬の10%を減額。  
平成28年度、議員月額報酬の20%を削減、議員定数を2名削減。  
約3686万円の削減

2) 平成27年3月定例会から、平成28年9月定例会まで予算審査・決算審査特別委員会を、議員全員で審査しました。

等の総合管理計画、有害鳥獣対策問題、小中学校の再配置計画、地域包括支援センター等）、そして議会で研究会を立ち上げて現在取り組んでいる公共交通問題の解消対策、また財政健全化に向けての議会の取り組みを報告しました。

続いて第2部においては各テーブルに進行役・補佐役の議員を配置し、グループごとに参加した市民の方たちと意見交換をする時間を設けました。



各グループとも共通のテーマ「住みやすいまちづくり」気になること・困ったこと」について、

まずは自分の意見を付箋紙に書き込んで頂き、それからグループ内で議論をし、最終的に「自分たちで出来ること」「行政・議会にお願いしたいこと」として、それぞれがまとめた内容を会場内で共有するために発表してもらいました。



3日間・計18グループから出た内容の中で、「行政・議会にお願いしたいこと」として意見が多かったものとして、様々な市政運営の情報が市民に伝わってこないの「市民への情報開示をもっと丁寧にしてほしい」といったことや、行政・区長会・議会との連携の強化を図って「市民の要望を吸い上

げる体制作り」を図ってほしいといった声が上がりました。また図書館や交流拠点施設の建設、病院誘致や学校施設の改善等といった「公共施設」に関する事、道路の舗装やU字溝・防犯灯の設置、通学路の整備、基幹道路の早期完成等といった「公共インフラ」に関する事、そして交通弱者の足となる「公共交通対策」について検討して欲しいといった声が多くあがりました。その他、「空き家や耕作放棄地の対応」「有害鳥獣対策」に力を入れてほしいといったような声もあがりました。



一方、「自分たちで出来ること」としては、ゴミステーションの運用等をはじめ「地域内でのルールを話し合って決め、ルール・マナーを守る」「お互いにあいさつ等、交流する機会を深め、地域内での意見交換を活発にしていこう」「地域で美化運動・防犯パトロール、自主防災組織を運営していく」「空き家、街路灯不足エリア等の情報を市にどんどん提供していく」等、自分たちで出来ることは積極的に活動していくことが大事であるとの意見が多く出ました。



今回、このような形での意見交換会を取り入れてみましたが、参加した方々からは「まず紙に書く形だったので自分の意見が伝えやすかった」「このように自由に意見を言える場やみんなで議論する場がなかったので、非常に良かった。今後も続けてほしい」「次回はもっと積極的にPRして若い方や多くの方に参加を促した方がよい」といったような感想を頂きました。



議会としましては、今回参加して下さった方たちから頂きました多くの声を、今後どのようにに議会運営や市政運営に反映していくか、議会内部や市職員と共に検討し、「住みやすいまちづくり」の実現を目指してまいります。

議会報告会の報告内容は、富津市役所1階行政資料コーナー及び富津市議会ホームページで今後公開予定です。

## ◆人事案件

### 富津市副市長の選任

区分	氏名	住所
新任	小泉 義行	千種新田

任期は、平成29年1月1日から平成32年12月31日までの4年間で  
す。

### 富津市固定資産評価員の選任

区分	氏名	住所
新任	小泉 義行	千種新田

任期は、平成29年1月1日から  
当分の間となります。

経歴
昭和50年4月 富津市役所就職
平成21年4月 議会事務局主幹
平成24年4月 総務部総務課長
平成26年4月 総務部長



就任式であいさつを述べる小泉副市長

### 小泉新副市長へ一言インタビュー

Q 今後の抱負について

A 高橋市長の掲げていらっしゃることについて、すぐやれるものは平成29年度に予算化されると思います。また、何年か経過を見ていかなければいけないもの、積み上げていかなければいけないものは、市長の意向に沿った形で、また市民の意向に沿った形で進めていかなければいけない。そのお手伝いができればと、まずは思っています。ただ、高橋市長は動きの早いお方で、内部をしっかりとやれたら、そういうお考えで推薦していただいたと私は思っていますので、まずは中をしっかりと守れればということだと思います。もちろん、高橋市長のやりやすい形を作る、ということでもよろしく  
お願い致します。



岩本広報委員長が副市長へインタビューを行いました



10月18日に千葉市で「第184回千葉県市議会議長会定例総会」が開催され、当市が提出した議案「国による子ども医療費助成制度の創設」について平野議長が趣旨説明を行いました。



10月19日・20日に静岡市で「全国市議会議長会研究フォーラム」が開催され平野議長が出席し、「二元代表制と議会の監視機能」についての講演や課題討議等が行われました。



10月23日に当市と友好都市である山梨県甲州市で「第11回甲州市およっちょい祭り」が開催され、岩本副議長、岡根教育長が訪問し交流を深めました。



11月22日に館山市議会との交流事業を今年度は富津市内で実施しました。浅間山砂利採取跡地のメガソーラーと東電富津火力を視察し、情報交換会において交流を深めました。



1月13日に木更津市で、君津中央病院高橋事務局長を講師に迎え「かずさ四市議会議長会議員研修会」が開催され、「君津中央病院の経営方針」について研修を実施しました。



1月14日に市役所1階ロビーにおいて、富津市議会・富津市共催による「平成29年新春賀詞交歓会」が開催されました。総勢400人が参加し盛会に行われました。

## ぜひ、議会傍聴に！

### 3月定例会日程

2月24日(金)	10時	議案の上程 開会
3月7日(火)	10時	議案質疑
8日(水)	9時30分	一般質問
9日(木)	9時30分	予備日
13日(月)		常任委員会
14日(火)		常任委員会
16日(木)		予算審査特別委員会
17日(金)		予算審査特別委員会
21日(火)	10時	予備日
24日(金)	10時	委員長報告 議案審議 閉会

※日程は変更になることがありますので、議会事務局(80・1331)へお問い合わせください。

### 【編集後記】

新市長をお迎えしての、初めての定例会を終えました。若きリーダーが誕生し、改めて心が引き締まる思いがいたしました。

また、一般質問2日目の冒頭には、表紙の写真にもありますように、みなと幼稚園の園児による鼓笛隊が議場をとってもあったかい空気に包んでくれました。この子たちが10年後も20年後も安心して暮らせる富津市でなくてはならないと強く思いました。

新しいリーダー、子どもたちの笑顔、これを活気ある富津市の象徴として、市民の皆様と共に愛する郷土を再生させましょう！  
(じゅんこ)